

資料 1 2 (秋田県)

男女共同参画視点導入・推進度評価調査表 (平成 1 5 年度)

課 所 名

推進員職・氏名

電 話

評 価 項 目	評価
1 男女共同参画の視点の施策への導入及び推進に関すること (1) 実施した施策について、次のような点に配慮して取り組んだ。 例 ①施策の対象者として男女をともに想定し、現状やデータを男女別に把握した。 ②施策の企画、立案、実施にあたり、男女双方の意見を聞き、女性と男性の視点が施策に盛り込まれるようにした。 ③これまで一方の性に偏っていた講師、選考委員等について、今年度は他方の性の講師等を積極的に人選するなど、そのバランスに配慮した。 ④事業を実施する曜日や時間帯、夫婦や男女ペアでの参加促進、託児の受付、インターネットの活用など、男女がともに参加または利用しやすくなるように工夫した。 ⑤男女間の事実上の格差を解消したり、男女が共に社会参画できるようにするなど、施策の効果が男女それぞれに及ぶように配慮した。 ⑥男女共同参画に関連する課題 (テーマ) に着目したり、男女共同参画社会に向けての家庭・学校・職場・地域における環境づくりや課題解決に取り組むなど、施策の方向性について男女共同参画の趣旨に合致するように配慮した。 〔新たに工夫したり、これまでの手法を変更した事例 (小さなことでも、また、推進員以外の事例でも結構です。できるだけご記入ください)〕	☐

(2) 広報・出版物やインターネットのホームページなどのイラスト、言葉、文章について、男女共同参画に配慮した表現となるように工夫した。（「男女共同参画の視点からの広報・出版物ガイドブック」参照）

- 例
- ①どちらかの性別に偏らないように、また、男女を固定的な観念にとらわれることなく表現した。
 - ②広報の相手方に「男性の役割」、「女性の役割」と受け取られないように、男女がともに役割を担い、活動しているように表現した。
 - ③性別によって上下関係をつけることなく、男女を対等な立場で表現した。
 - ④これまで極端に少なかった女性又は男性の出番を積極的に増やすこととした。（積極的改善措置）
 - ⑤女性を人目を引くための存在（アイキャッチャー）として表現しないようにした。
 - ⑥男女のいずれにも使用できる言葉で表現するなど、男女共同参画の趣旨に合致するように適切に表現した。
 - ⑦統計表記は、できるだけ男女別に内訳を表記するなど、男女並列の扱いになるようにした。

新たに工夫したり、これまでの表現等を変更した事例（小さなことでも、また、推進員以外の事例でも結構です。できるだけご記入ください）

2 男女共同参画に関する職員の意識啓発に関すること

- 例
- ①職場研修を開催するなど職員の意識啓発に努めた。
 - ②職場で男女共同参画広報紙（ハーモニー通信、男女共同参画シカク通信）を回覧し、それに掲載されている情報や、女性の社会参画、セクハラやDVなどの男女共同参画関連の新聞記事を話題にするなど、男女共同参画に関する情報の共有に努めた。

実践した事例（小さなことでも、また、推進員以外の事例でも結構です。できるだけご記入ください）

3 男女が共に働きやすい職場環境づくりに関すること

- 例
- ①セクシュアル・ハラスメントが発生しないように目配りした。
 - ②業務分担や具体的な仕事の指示にあたり、「女性の仕事」、「男性の仕事」をつくらないようにした。
 - ③給茶について、男女いずれも行うようにした。
 - ④男女共に育児休業、介護休暇が取りやすいような雰囲気づくりに努めた。
 - ⑤男女共に出張、研修、能力開発などの機会を平等に与えるようにした。
 - ⑥男女共に家庭と仕事の両立ができるように、また、特定の職員に業務量が偏って長時間勤務にならないように事務分掌を見直したり、回りの職員で協力するようにした。
 - ⑦地域活動やPTAなどの学校活動のために休暇が取りやすいような雰囲気づくりに努めた。
 - ⑧県民等への接遇にあたり、性別役割分担を前提にした対応を行わないように、男女いずれに対しても同様の態度で対応するようにした。
 - ⑨男女の人権侵害に関する相談や苦情に対して適切な対応をした。

実践した事例（小さなことでも、また、推進員以外の事例でも結構です。できるだけご記入ください）

4 次の点について、ご意見、ご感想を記入してください。

(1) 推進員制度について

例えば、よりよい制度にするために見直ししてもらいたい点や、推進員の役割としてふさわしくないと思われる点など

(2) 推進員になって感じたこと、気づいたこと

(3) 推進員の業務について

該当する項目に○印をつけてください。

ア とても負担になった イ やや負担になった ウ どちらともいえない

エ あまり負担にならなかった オ 全く負担にならなかった

5 男女共同参画セミナーについて（1月16日、県庁第二庁舎8階大会議室で開催）

該当する項目に○印をつけてください。

(1) 受講の有無

ア 受講した イ 受講しなかった

※ 以下は受講した方にお伺いします

(2) 男女共同参画の必要性について

ア 理解できた イ どちらともいえない ウ 理解できなかった

(3) セミナーの必要性について

ア 来年度も実施すべき イ どちらともいえない ウ 必要でない

評価欄の記入方法

職場全体の取組状況について、推進員は次の評価基準に従って評価し、評価表の評価欄の□の中に「◎、○、△、×、－」のいずれか一つを記入してください。
記入箇所は4箇所です。

（評価基準）

- ◎ 取組みが実行されており、その結果は十分に満足できる状況にある。
- 取組みが実行されているが、その結果はまだ十分とはいえない。
- △ 取組みがほとんど実行されていない。
- × 取組みが全く実行されていない。
- － 当課所に該当しない取組みである。